

関学IBAジャーナル創刊に当たって

専門職大学院経営戦略研究科教授 研究科長 山本 昭二

関西学院が高等学部商科を設置したのは、1912年のことです。神戸の地で創立された関西学院が真っ先に商科を設置したのは、貿易が盛んであったことが背景にあるとはいえ将来の高等教育の方向性に敏感に対応したからに他なりません。2005年に設立された経営戦略研究科もこうした関学のビジネス教育の伝統の上に立ったものです。

経営戦略研究科（ビジネススクール、アカウンティングスクール）の使命は、従来の研究者養成のための大学院教育ではなく、実務家も含めた専門的な知識を持ったビジネスパーソンの養成のためにより実践的な教育を行うことです。もちろん、この研究科で行われる研究は理論的にも最先端のものであり、ビジネスの最前線で問題になっている事象と関係するものになっています。

経営戦略研究科では、研究成果の発表を行う「ビジネス&アカウンティング レビュー」を刊行しています。2冊目の雑誌となるこの「IBAジャーナル」は、研究成果と共に教育の実践、企業での事例、会計制度の解説、学生が参加したプロジェクトの報告などを掲載することを目的としています。この雑誌は、経営戦略研究科で現在進行している様々な試みの紹介や企業社会で起こっていることの解説などを広く社会に示すことで経営戦略研究科の目的の一つである、「社会との広い連携」を果たすという役割を担っていると言っても良いでしょう。

それは、従来の大学が持っている社会に対して自己完結をしたイメージではなく、様々な組織や個人と関わり合いを持ちながら研究や教育に結実させていくという姿勢の一つの表れであると考えています。

「IBAジャーナル」は、これからビジネススクールとアカウンティングスクールがそれぞれに果たしていくべき役割と密接に結びついています。この雑誌をお読みになって興味を感じられたら、様々な形で経営戦略研究科の活動に参加をしてみてください。それは、大学院生として入学するだけではなく、ビジネスパーソンとして会計の専門家として関わるという方法もあります。また、経営戦略研究科が社会に広く提供する様々な試みに共感して頂くことでも良いでしょう。その意味でも、この雑誌はこれから成長していく雑誌であると考えています。

是非、私たちと一緒に「IBAジャーナル」を育てていくことに参加していただければと思います。

2007年4月吉日